



4/6に研究室で行った洗浄実験の菌数調査を行った.

結果として河川水そのままに比べて超音波およびUFB+超音波において大きな減少が見られた. 特にUFB+超音波に関しては1桁以上の変化となった.

要因として、河川水そのままで一週間保管したものに対して洗浄実験を行ったため、洗浄後に保管したものと比較して洗浄効果が最大限観測されたものと考えられる.

一方で研究室での実験時は活性種の観測が思うようにできなかったため、活性種に関しては今後さらなる検討が必要である.